











〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法							オプション
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D	2D	
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ	46サイズ	
H10/11~H13/6	GF-GA3 GF-GA5 E-GA3 E-GA5	全車種 (ダッシュ)	Bタイプ	1D	×	KJ-H21D①		3,500円	注1,4,5	◎	×	
				1D	×	KK-H54D②		4,500円	注1,4,6	◎	×	
				1D	×	KJ-H01D③		3,500円	注1,4,6	◎	×	
		オプション コンソール付車	Bタイプ	1D	×	KJ-H21D①		3,500円	注2,4,7	◎	×	
				1D	×	KK-H54D②		4,500円	注2,3,4,6,7	◎	×	
				1D	×	KJ-H01D③		3,500円	注2,4,6,7	◎	×	




- (注1) リア部1点のみの取付けとなり、窓口周囲に少し隙間があく。取付ける場合はステレオを奥迄確実に挿入し、ゆるんで外れることがないように、取付ネジをしっかりと締め付けます。
- (注2) 同梱のパネルとブラケットをステレオにセットし、ブラケットL/Rはネジ止めせずにそのまま車両側に挿入し、ステレオのネジ穴が車両側ブラケットL/Rの取付穴に合う位置迄挿入して、ステレオと車両側ブラケットの間に、キットに同梱のブラケットを挟み込む形にして取付けます(同梱のブラケットの穴は、車両側ブラケットの穴より少し手前にずれますが、そのまま取付けます)。また、取付ネジはステレオに付属されているネジでは長さが少し足りませんので、長さ10mmのタッピングネジを別途用意して取付ける必要があります。
- (注3) キットに同梱のリアブラケットは使用しません。
- (注4) ホンダナビゲーションシステム付車の場合には、ナビゲーションシステムは使用不可になります。
- (注5) H10/11~H13/6のオーディオレス仕様車(GおよびTSグレードに設定)は、車両のラジオ用配線が14Pコネクタになっているため変換が必要です。この場合には、純正の「取付アタッチメント」(純正品番:08B01-S50-000)を購入する必要があり、「取付アタッチメント」に付属されている14P-20P変換ハーネスと、KJ-H21D①(希望小売価格3,500円、税別)を使用して、取付けが可能となります。
- (注6) グレードがBタイプのみ、車両のラジオ用配線はH10/11以前と同じ16Pコネクタになっていますので、KK-H54D②またはKJ-H01D③を使用します。
- (注7) オプションコンソールには2種類あり、窓口の純正パネル形状の異なるものがあります。オプションコンソール部のアドオン取付けにあたっては、下段のコンソール部にあらかじめ純正メインユニット側が移されている場合か、コンソール周りが「TV取付アタッチメント」(純正品番:08U60-S50-D61)に設定されている場合に限り、下段のコンソール部が「(CD/MDプレーヤー用)取付アタッチメント」(純正品番:08U60-S50-A60)に設定されている場合には、取付け時に純正パネルがキットパネルに干渉し、純正パネルは使用できないため隙間が空き、キット付属より2倍強厚い(5mm程度の厚さ)クッションテープを別途用意し、キットのパネルを覆う必要があります。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) ……純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27VⅡ④(12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27VⅡ④付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) ……KW-27VⅡ④は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ				ユニットタイプ				サテライト				
			TS- V173S C1730	TS- F1740S F1740	TS- C1630S C1630	TS- F1640S F1640	TS- F1040S F1040					TS- X480G X380	TS- X180	TS- E1796	TS- E1676	TS- E1396	TS- E1076	TS- G1030	TS- STH1100	TS- STH700	TS- STX510		
5ドア	Fドア		X	X	X	X	X	⓪②						X	X	⓪①	⓪①						○ リアビ ラー部 トリム
	Rシェルフ									⓪	⓪	○											
注記	① 純正位置に付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを取付ける。取付穴の四隅に少し隙間があく。 ② 取付穴が完全に塞げず周囲に隙間があきます。																						

[カスタムフィットスピーカーの記号]

⓪	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⓪	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	ⓧ	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	ⓩ	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
◯	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	×	取付不可
⓪	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
⓪	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要)		

[ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号]

⓪	取付可	△	取付可 (別売の「スパーサー」使用)
●	取付可 (鉄板加工が必要)	▲	取付可 (別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要)
○	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用)	□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)
●	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要)	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

[サテライトスピーカーの記号]

○	取付可	(×)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		×	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。